



## 相馬中学校の職場体験

9月26日から3日間、相馬中学校2年の成田唯さんと三上亜里紗さんが沢田内科医院で職場体験をしました。よくあることですが、亜里紗さんは初日の朝に青くなってベッドで横になっていました。迷走神経反応というのですが、冷や汗をかいて脈拍が遅くなる、いわゆる脳貧血になったのです。

その後は何ごともなかったかのように、聴診器で自分の心臓の音を聴いたり、超音波検査で自分の肝臓や胆のうなどを見て感動していました。胃と大腸内視鏡検査でも体の中の見えない部分を興味深く見ていました。

また、看護師の「自分でやりたい仕事をしていけば、少しくらい自

分の時間を犠牲にしても何とも思わない」という言葉を聞いて、ただ生活のために仕事をするのではなく、やりがいのある仕事をする事の大切さにも気づいたようです。



二人ともすごく明るく、昼ごはんを食べていても学校のことや家のことなどいろいろな話をしてくれました。その時に、1ヶ月後に相馬中学校へ行くことに決まっていたので、会っても知らないふりをしたらダメだよと言いましたら、ハイタッチをする約束をしてくれました。

さて、10月24日は弘前市教育委員として相馬中学校への学校訪問でした。2時間目に2年生の教室へ後から入って前の方に行きました。そうしたら前後の席で隣同士の二人がいました！ 数学の授業時間だったのに、二人で私にVサインです！ もちろん私もVサインで応えました。そして約束通り、授業時間が終わって廊下に出てきた二人とハイタッチしました。

廊下で話していた時に、唯ちゃんと亜里紗ちゃんの二人は、給食を一緒に食べようと提案してきました。二人ではさんでと。実は、当日は、教育長を初め学校訪問した人たちは会議室で給食を食べることになっていました。でも、二人の提案を話したところ、校長先生が慌てて私の給食を2年生の教室に用意してくれました。担任の先生も、「積もる話もあ



医院での写真 左が亜里紗ちゃん、右が唯ちゃん



相馬中学校で 私の前の向かって右が亜里紗ちゃん、左が唯ちゃん

るだろうから・・・」と二人の机の間に私の机を用意してくれました。

担任の先生は、黒板に大きく「ようこそ 沢田先生」

と書いてみんなと一緒に写真を撮ってくれました。午後の学校訪問を終え医院に帰ってくると、すでに写真が届いていました。ちゃんとした教育委員会の仕事の学校訪問ですけど、これまでで最も楽しい学校訪問でした。

## 田渕麻記子先生の臨床研修

10月1日から31日まで、国立弘前病院の地域医療研修として田渕麻記子先生が外来診療を行いました。ほぼ外来診療だけで、病歴の取り方、身体所見の取り方を確認し、患者さんの状況を理解することを繰り返しました。

断片的な知識は持っているのですが、それが臨床の現場で十分に発揮できていない状態でした。どんどん自分の中から出して実際に試してみると、確かな自分のものになると思います。

田渕先生は食が細く、一緒に昼ごはんを食べてもこれでよく生きてるなと思うほど食べる量が少なかった。「ネギ」とつく食べ物は食べないし、初日につけた名前が「からきじマキコ」です。



職員に囲まれた田渕麻記子先生

私が教育委員として学校訪問に出かける日が多く、十分に対応できませんでした。将来は麻酔科医を目指していますが、積極的に臨床現場に飛び込んでりっぱな医師になって欲しいものです。

## 中学生のピロリ菌除菌が始まる

ピロリ菌が胃癌の原因であることが分かっています。ピロリ菌がいなければ、胃癌になる可能性はほぼゼロです。ピロリ菌に感染している人が、治療しないでそのままにしておくと、一生の間に約10%が胃癌を発症することも分かっています。がん年齢で除菌治療をすると胃癌になる確率が約3分の1になります。そして、ピロリ菌の除菌治療を若い時期に行うほど、胃癌になる確率がそれだけ低くなることも予想されています。

弘前市では、毎年90人前後の人が胃癌で亡くなっています。胃がん検診を受けていれば、亡くならず済んだ人はたくさんいると思います。亡くなっている人の数がこれ位ですから胃癌を発症した人は、この2倍も3倍もいるはずですよ。ピロリ菌を除菌すること、子どもにピロリ菌を移さないことで、この数字は限りなくゼロに近づきます。

弘前市医師会では、胃がん対策としていろいろな提案をしてきました。これに対応して、平成26年

陸奥新報より

2017年(平成29年)11月8日

(水曜日)

# ピロリ菌早期発見を

## 弘前市が中2対象に検査開始 家族らの治療も期待



検体を回収する弘前市医師会健診センターの担当者(左) 11月7日、東中学校

弘前市は今年度から、市内中学2年生を対象に胃がんなどの原因となるピロリ菌の検査をスタートさせた。ピロリ菌は、一度感染すると胃の中に生息し続けて発症のリスクを高めるため早期発見・早期治療が重要。また子どもへの感染は家族からの家庭内感染が主であることから、若者世代と合わせ、保護者世代のピロリ菌発見・治療にもつなげる機会としたい考え。(西尾瑛)

市などによると、ピロリ菌は、一度感染すると胃の中に生息し続けて発症のリスクを高めるため早期発見・早期治療が重要。また子どもへの感染は家族からの家庭内感染が主であることから、若者世代と合わせ、保護者世代のピロリ菌発見・治療にもつなげる機会としたい考え。(西尾瑛)

感染するとほぼ100%胃がんになるが、慢性胃炎はほとんどの場合は無症状で、症状があつて受診した時には潰瘍や進行した胃がんとなっている場合がある。日本で発見される胃がんの98%がピロリ菌感染によるもので、「胃がんは感染症」と言われるようになってきた。

ており、ピロリ菌の除菌が早ければ早いほど予防効果が高く、若い世代では除菌により、

弘前市における中学2年生対象のピロリ菌検査は、検査を希望し、かつ保護者の同意があつた生徒を対象に実施し、今年度は対象者数1503人のうち、約7割に当たる1053人から申し込みがあつた。検査は市医師会に委託して尿検査

を行い、陽性が出た場合は医療機関で2次検査として精密検査を行い結果を確定させる。除菌からは保護者負担となり、服薬で約1万5000円程度という。11月からは各中学校から尿検査の検体を回収する作業が始まった。

市の事業化に携わつた同市の沢田内科医院の澤田美彦院長は「予防できるがんは予防することが大切。成人対象ではピロリ菌検査を含む市の胃がんリスク検査があり、中学生の検査と合わせて継続していくことで将来世代にわたってピロリ菌感染者を減らし、弘前の胃がんゼロを目指したい」と力を込めた。葛西憲之市長は「陽性の方には2次検査を勧奨していくとともに、その家族にもピロリ菌の検査を促していく。市では今後もがん対策を強力に推進していく」とコメントした。

から弘前市では胃がんリスク検診を始めました。3年間の集計では、約3,800人が受診し、ピロリ菌に感染している人は40歳で約20%、55歳で約40%であることが分かりました。15年間で感染率が半分になっているのには驚きました。この事業は毎年継続し、ピロリ菌に感染している弘前市民が一人でも少なくなることを期待しています。

弘前市では、11月に中学2年生に対してピロリ菌除菌事業を開始しました。医学的なことなどはアドバイスしましたが、健康づくり推進課の担当者が細かい手順書を作成してくれました。他の市町村で似たような事業を行う時は手本になるほど細かく決めています。

今後、胃がんリスク検診と中学生のピロリ菌対策を進めて行くと同時に、20歳から40歳の市民、保育園での保育士のピロリ菌対策などを進めて行く予定です。

## 弘前市医師会看護専門学校「看護の誓い式」

10月7日午後、弘前市医師会看護専門学校で「看護の誓い式」が行われました。私にとっては、学校長として初めての式でした。

「看護の誓い式」は、以前は「戴帽式」と呼ばれていました。看護を志す学生が看護師のシンボルであったナースキャップを初めてかぶる儀式です。しかし、ナースキャップは、ほとんどの病院で姿を消し、「戴帽式」の呼び名は「看護の誓い式」、「宣誓式」などと改められています。



「看護の誓い式」は、これから病院での臨地実習が始まる准看護学科の学生が、看護の意味を考え、看護の道を選んだことの決意とその責任の重大さを再認識し、これから歩む看護師としての夢や希望を心に刻む厳粛な儀式です。

式の中で、全員で声を合わせてナイチンゲール誓詞を読み上げます。ナイチンゲールの看護に対する

精神を基とし、医学に携わる看護師としての必要な考え方、心構えを示したものです。看護師として忠実に仕事に尽くすこと、患者に害を及ぼすようなことはしないこと、看護師として常に研鑽すること、秘密を漏らさないこと、患者のために身をささげることなどを内容とし、ナイチンゲール

の偉業をたたえて作成されたものです。

今回は、准看護学科1年生79名がナイチンゲールのキャンドルから灯火を受け取り、力強い宣誓をしました。キャンドルの灯火は、クリミア戦争の野戦病院で傷ついた兵士を見回ったというナイチンゲールのランプの灯火であり、患者を思う看護の精神を象徴しています。看護の先輩である教務の先生方から自分のキャンドルに灯火を受け取るということは、看護の精神を受け継いでいくという意味と、受け継いだ精神を絶やすことなく引き継いでいくという意味があります。

それと同時に、自分には本当に看護の道を志す強い意思があるのか、その資質が自分の中にあるのか、医療現場に出る前に改めて自分を見つめ直すところに、看護の誓い式の存在意義があります。

いつもは騒がしい79人の学生が暗くした式場で、物音も立てずキャンドルの灯火の下でナイチンゲール誓詞を心に刻む姿は感動的です。看護師としての新たな決意をしたことと思います。

